

薬を扱うなら
知っておきたい！

薬剤経済 はじめの一歩

contents

はじめに

基礎編

1 薬剤経済学とは

10

1. 医療の経済評価はなぜ必要か	10
▶国民医療費　▶医療における経済評価	
2. 医療経済と薬剤経済の違い	14
3. 費用対効果の考え方	15
▶完全な経済評価　▶経済評価の手法　▶費用効果分析	
4. 増分費用効果とは	18
▶増分費用効果の考え方　▶増分費用効果の日常例	
5. 投入と結果を比較する	19
▶費用比較分析の考え方　▶費用効果分析の考え方　▶費用便益分析の考え方	
6. 分析の立場	21
▶経済評価の目的は立場で異なる　▶経済評価でよく用いられる分析の立場	
7. 薬剤経済学にかかわる人たち	23
◆ 確認問題	24
Columns 痘学者と医療経済学者の考え方	26

2 病気に関するお金の話

27

1. 病気の値段とは	27
▶ 医療費（直接費） ▶ 非医療費 ▶ 生産性損失（間接費） ▶ 心理・ 感覚的負担	
2. 医療費の推計について	30
▶ 国民医療費からの推計 ▶ レセプトデータからの推計 ▶ 疾病医療費 の区別	
3. コストとチャージ	34
4. 患者・家族の負担	36
▶ 専門家調査と患者調査 ▶ 患者調査の手法	
5. 生産性損失	37
▶ 生産性損失の機会 ▶ アブセンティズムとプレゼンティズム ▶ 人的資本法と摩擦費用法 ▶ うつ病の社会的損失の推計 ▶ 生産性 損失データの活用	
6. 支払い意思額	40
▶ 支払い意思額の推定 ▶ 医療サービスへの投入額	
7. 国民医療費を減らすために	42
▶ 投入額と削減額 ▶ 削減額は意識されにくい ▶ 膨れ上がる国民医療費 ▶ 機会費用による医療費削限 ▶ 「予防」による医療費削限	
◆ 確認問題	46
Columns 計量経済学による医療費の推計	48

3 薬物治療の効果とは

49

1. 治療効果のあらわし方、比較のしかた	49
▶ 薬物治療と評価尺度 ▶ 評価尺度と検定方法 ▶ 誤差の種類と対処	
2. 真のエンドポイント	53
▶ 効能と効果 ▶ 真のエンドポイントを指標とするには	
3. 臨床試験から	55
▶ 治療効果に関する情報の集め方、使い方 ▶ メタアナリシスとネットワー クメタアナリシス	

4. QOLによる重み付けQALY	58
▶健康状態の評価	
▶健康状態の直接測定法	
▶健康状態の間接測定法	
▶健康状態で重み付けした生存期間	
◆ 確認問題	62
Columns オッズ比って何だろう	64
4 費用と効果を比べる	65
1. 費用効果分析	65
▶考え方	
▶留意点	
2. 費用便益分析	68
▶考え方	
▶健康の価値	
3. モデル分析	69
▶判断樹モデル	
▶マルコフモデル	
4. 感度分析	73
▶データのバラツキ	
▶一次元感度分析	
▶トルネード図	
▶確率的感度分析	
5. 割引	75
▶目先のもののほうが価値が高い	
▶割引による費用対効果の比較	
◆ 確認問題	78
Columns モデル分析の実際	80

実践編

1 感染症対策の経済評価について	82
▶不必要的抗菌薬使用の抑制	
▶MRSA感染症による増分医療費の推計	
▶抗菌薬適正使用プログラムの効果検証	
▶プログラム費用を考慮した費用効果分析	

2 抗凝固薬の適正使用について

88

- ▶ 心房細動とワルファリン治療
- ▶ ニュージーランドにおける研究
- ▶ タイにおける研究
- ▶ シンガポールにおける研究
- ▶ 米国における研究

3 糖尿病治療の長期予後について

97

- ▶ わが国における糖尿病
- ▶ 経口血糖降下薬の費用対効果
- ▶ レセプトデータを使った費用推計

4 膣がん化学療法について

102

- ▶ わが国における膵がん
- ▶ 進行膵がんに対する化学療法の間接比較
- ▶ マルコフモデルによる費用推計

5 ワクチン接種による疾病予防について

107

- ▶ わが国における予防接種
- ▶ ワクチンの医療経済的評価
- ▶ 高齢者のワクチン接種

6 ビッグデータを使った費用推計

112

- ▶ 医療情報ビッグデータの活用
- ▶ 1つめのポイント：疾患関連費用の定義
- ▶ 2つめのポイント：医療費の分布
- ▶ 3つめのポイント：年間医療費
- ▶ 4つめのポイント：診断名と病名コード

◆ 薬剤経済学の政策利用（あとがきにかえて）	118
◆ 確認問題正答	123
◆ 参考図書	124
◆ 索引	126